

0486

6

陸軍大臣殿
當軍隸下第五十一師團第五十一歩兵團司令部
分任官陸軍中佐田中精一取扱亡失金二係ル
首題、件別紙、通提出ス

出納官吏検査判決書提出ノ件

陸軍省第一八八號

四九八五

7.8.28

陸軍省
7.9.1
年前
主計課

陸軍省
7.8.28
受取
兵務課

第五十一師團司令部

179-21
監査課

陸軍省第七十八号
田中精一

極秘

陸軍大臣經由

第五十一師團長經由

第五十一師團長經由

陸

軍

陸〇一經第一〇八號

檢査判決要求書提出ノ件

第五十一師團經理部主任資金前渡管吏陸軍會計中尉江頭秀雄所屬

昭和七年七月二十八日 第五十一師團經理部主任官陸軍會計中尉山本利衛所屬

第五十一師團司令部分任官陸軍中佐田中精一

會計檢査院長 河本文一 殿

第五十一師團司令部分任官トシテ小官取扱ニ係ル

前渡資金ヲ亡失セシニ係ル會計法第三十六條ニ依リ

厄記ノ通關係書類ヲ提出ス

一、檢査判決要求書

二、所屬長官ノ保證書

三、前渡資金亡失状況調書

四、臨時軍費受附計算書（五月分臨時檢査檢定書添付ス）

検査判決要求書

第三十三軍級理部分任資金前渡官吏陸軍計中尉江頭秀雄所屬

昭和七年 第三十一師團理部分任官陸軍計中尉山本利衛所屬

七月十八日 第五十五步兵團司令部分任官陸軍中佐田中精一

會計検査院長河本文一殿

小官取扱ニ原ル臨時軍事費前渡資金參千五百

五拾圓ハ昭和十七年五月十九日廣東市海珠橋

北側十字路附近ニ於テ別紙保管現金亡失状況

論書ノ通過撤途中率銀ヲ命シタル下士官以下

ノ不注意ニ依リ前記金額ヲ亡失セシモ亦任官

トシテハ別紙所屬長官ノ保證書ノ通善良ナル

管理者ノ注意ヲ以テ取扱ヲ為シタルモノニ依

公網官災ノ責任解除ノ判決相成度

陸軍

新谷良

保 證 書

第五十一歩兵團長 岡部 通

當司令部分任官陸軍中佐田中精一取扱ニ係ル
 前渡資金亡失ニ就テハ別紙前渡資金亡失状況
 調書ノ如ク分任官田中中佐ハ當日世路作戰準
 備後前渡資金受領ノ為下士官以下ヲ帶同シ自
 勤貨車ニ依リ石橋歩兵團司令部ヨリ中山師
 團司令部（距離陸路約十五里）ニ出向連絡中作
 戰所要事項協定ノ為急速隣地區（太平場）警
 備隊ニ出向ノ必要アリタルヲ以テ自身前渡資
 金ノ處理ヲ為シ得タルニ依リ己ムヲ得テ前渡資
 金トシテ經理部ヨリ受領ノ小切手ヲ帶同セリ
 機部並新軍曹ニ交付シ發衛矣トシテ後木上算
 兵ヲ附シ所要ノ注意ヲ與ヘ日本銀行廣東代辦

店ヨリ現金ノ引出、宰領班帳軍用物品ノ購入
 命ニタリ、
 殿部主計軍曹ハ歩兵團司令部ノ金銭業務担任
 下士官ニシテ性温厚篤實、平素ノ服務熱心誠
 實ニシテ相當ノ學識及年輩者（横浜高等商業學校卒業
 當年三十二歳）
 タルヲ以テ田中中佐ハ之ヲ信用シ前記行動ヲ
 命シタルモノナリ
 殿部主計軍曹ハ作戰出勤準備ノ為數日來深更
 迄業務整理ニ暇ニアリ、且當日ハ雨中十数里
 ノ悪路ヲ自働貨車ニ搭乗シ田中中佐ニ同行シ
 タルモノニシテ相當ノ疲勞ヲ感シアリタリ
 加之、當日午店ヨリ霽天トナリ氣温著シク上
 昇シ南支那特有ノ暑溽ノ為倦憊ノ餘リ不測ノ
 過失ヲ犯スニ至リタルモノナリ

(結谷良・五郎)

尚當時護衛兵茂木上等兵ハ購入物品ノ監弁ニ
 任シアリタリ
 分任官田中中佐ハ歩兵團司令部唯一ノ鬼役將
 校ニシテ繁劇廣汎ナル本務ニ服務シアル外極
 理業務ヲ担當シアリ
 上述ノ如ク當日ハ本務タル作戦業務遂行ノ為
 米納官又業務ヲ自身處理シ能ハス已ムヲ得ヌ
 磯部主計軍曹ヲシテ代行セシメタルモノナル
 モ代行セシムルニ當リテハ護衛兵ヲ除シ所要
 ノ注意ヲ與フル等萬全ノ處置ヲ講シタルモ
 ニシテ米納官又トシテ善良ナル管理者ノ注意
 ヲ怠ラサリシモノニハ辨償ノ責任ナキモノト
 判定ス

雙

出納官吏保管現金亡失狀況調書

一、出納官吏所屬官氏名

第二十三軍經理部兼任資金前渡官吏陸軍主計中尉江頭秀雄所屬

第五師團經理部兼任官 陸軍主計中尉 山本利衛所屬

第五上歩兵團司令部分任官 陸軍中佐 田中精一

六、被害、日時及場所

日 時 昭和十七年五月十九日十六時三十分頃

場 所 廣東市海珠橋北側十字路

三、被害ノ原因タル事海員ノ狀況

第五上歩兵團司令部分任官陸軍中佐田中精一ノ命ニ依リ同隊隊員

錢業務担任ノ陸軍主計團曹磯部義部ハ五月十九日十五時三十分頃

護衛兵茂木上等警曹以下ニ台灣銀行(日本銀行廣東代理店)ヨリ臨

時金千兩賞前渡資金參千六百拾圓ヲ受領シ内六拾圓ヲ取出シ殘額

參千五百拾圓ヲ千授靴ニ收藏シ十六時頃廣東市長堤大馬路協同

組ヨリ取用物品ヲ購ハシ護衛受後木上等兵ト共ニ人力車ニ乗り兵站宿舎ニ運搬ノ途中廣東市海珠橋北側十字路ニ差懸リシ際折カラ非常警戒中ニシテ廣東警備隊ニ依リ交通ヲ遮断セラレアリシ為乗り居リシ人力車ヲ最前方迄進出セシメ下車シ遮断ノ解除ヲ待チ居リタリ。

當時護衛受タル係木上等兵モ亦本人ト共ニ下車ス

屬々人力車ノ右側ニ茶褐色ノ乗用自動車アリテ同シク交通遮断ノ解除ヲ待チ居リタリ。

當時本人ハ蒸シ暑ク為身体ニタルミヲ感シ居リテ軍票券千五百五拾圓入ノ手授靴ヲ前記自動車ノ踏台上ニ載セ自ラハ其ノ靴ノ授テ口ヲ扼キ手ヲ持チ待機スルニト約十分程ニシテ交通遮断解除トナリ待機中ノ友那人車輻其ノ他一齊ニ雪崩ヲ打ツテ前方ニ移動シ始メタリ。本人ハ突然ナリシ遮断解除ノ混雜ニ茫然トナリ靴ヲ手放シタル瞬間ニ前記ノ自動車ハ急速度ヲ以テ登進セリ。

本人カハツト氣体クシ疇ニ既ニ十米近ク前進シ居リテ急ク大聲ヲ出シツ、

早稲ヲ以テ追ヒタルモ自動車ニ通セス階台ノ上ニ鞆ヲ乗セタル儘海珠橋ヲ超ヘ河南ノ方向ヘ走リ去リタリ 本人ハ五、六十米ニシテ其ノ影ヲ見失ヒタルモ尚モ海珠橋ヲ渡リ追躡ス(此ノ間約百五十米)

海珠橋南側ノ歩哨ニ問ヒ合セタルモ該自動車ノ行衛全然不明ノ爲ニ前記併機位置ニ返還シ物品ノ監視ニ任シアリシ茂木上等兵ニ事情ヲ話シ共ニ中央地區憲兵隊ニ届出テ搜索ヲ依頼セリ、

二十日早朝前夜遅ク太平場警備隊ヨリ返還廣東ホテルニ宿泊中ノ分任官田中中佐ニ其ノ事情ヲ詳細ニ報告シ分任官田中中佐ハ直ニ前記憲兵隊ニ到リ搜索方更々テ依頼セリ、

四 被害ノ金額

軍票 参千五百五拾圓(臨時軍用費)

五 被害事情見ノ動機

第三項記載ノ通

六 早素ニ於ケル現念管解ノ方法

石ハ必徴中ノ私來事ニシテ平素ニ於テハ部隊金櫃管并規定ニ基テ金櫃行
李ニ收藏シ衛兵所ニ保管ス。

七、被害ニ対スル處置

被害後直ニ機部軍曹ハ廣東中央地區憲兵隊ニ捜索ヲ依頼スルト共ニ翌
二十日早朝分任官田中中佐ニ報告ス。田中中佐ハ直ニ同憲兵隊ニ捜索方
向メテ依頼スルト共ニ同日正午頃廣東ホレルニ到着セシ步兵團長岡部
少將ニ報告シ同日午後師團長及經理部長ニ口頭報告ス。

爾後憲兵隊ニ於テ極力捜索中ナリ

八、責任者ニ対スル處置

第五土歩兵團長岡部少將ハ関係者ヲ把握ノ通處罰セリ

ハ第五土歩兵團司令部々員

輕 謹 慎

三日

分任官陸軍中佐 田中精一

澄 田

田中中佐ハ當日日本勢タルモ遂ニ作戦準備ノ為太平洋場警備隊(隣地區

凡其、他必要ト認ル事項

警備隊)ニ出張セシニ依リ己方得ス磯部主計軍曹ニ護衛兵ヲ附シ之カ
受領ニ任セシメタルモノニテ亡失ノ原因ハ磯部主計軍曹ノ當時ニ於テ重
大ナル過失ニ基因スルコト大ナルモアリト雖モ部隊出納官夫トシテ同主計軍
曹ノ指導適切ヲ缺クトコアルニ依ル、

2. 第五上歩兵團司令部附出納官史助平陸軍主計軍曹自磯部義部ハ「セ」
作戦参加中ニ作戦終了取隊後處罰スル等ナリ、

1. 磯部主計軍曹ハ被害發生當日夜大倉部隊及站宿舍ニ茂木上等兵ト同宿ス

茂木上等兵ノ陳述ニ依レハ本人ハ心配ノ余リ夕食ニ喫セス當夜殆ント一睡モセス

茂木上等兵ニ詳シク茂木上等兵心配ヲ掛ケテ濟マナカツトナリト繰返シ居レリ、

茂木上等兵モ磯部軍曹自ノ心境ノ変化ヲ慮リ之亦一睡モセス、

2. 五月二十四日廣東憲兵隊本部ニ磯部主計軍曹及茂木上等兵ヲ出張セシメ西名

ノ調査ヲ依託實施セルニ右ノ通現念ヲ亡失セシコト有事實ナリ、

3. 師團經理部長ハ經理部職員茂木主計中尉ヲ検査員ニ任命シ同隊ノ散失金

五月二十四日

種々検査せしめタルも前記亡失金ノ外異状ナシ

之ヲ要スルニ田中中佐ハ歩兵團司令部唯一ノ現役將校(兵科)トシテ繁劇廣汎ナル本務ニ取務シアル外經理業務ヲ担當シアリテ出納官吏業務ニ専念スルコト能ハザリシト雖モ前液資金亡失ノ原因ハ處罰理由ニモ記述シアル如ク出納官吏^{下僚}指算不允分ト下士官ノ重大ナル過失ニ基クモノト認め

附記

昭和十七年六月十六日波集經主第四二號ニ依リ本書ノ通第二十三軍司令官ヨリ陸軍大臣(經理局長)ニ報告(通報)セリ

昭和17年5月分臨時軍費受拂計算書 第一八〇部隊 陸軍中佐田中精

前月迄領收額		本月領收額		移算		受移算		拂		計		臨時軍費		支		拂		計	
前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月
3,826.68	5,600.00									8,426.68		陸軍臨時軍費	2,731.82	2,644.67				5,376.49	3,050.19
255.50	600.00									255.50		俸給	255.50	147.50				403.00	452.50
114.00	400.00									514.00		旅費	84.00	85.50				169.50	344.50
460.07										460.07		備給	327.85	112.85				440.70	19.37
3,656.25	6,600.00									10,256.25		諸手当	3,399.17	2,990.52				6,389.69	3,866.56
105.42	40.00									145.42		計	51.97	103.42				155.39	
117.15	400.00									517.15		物品費							
10.00										10.00		郵便電話費							
10.00										10.00		物品費							
50.00										50.00		被服費							
4.65										4.65		兵器費		4.00					4.00
139.60										139.60		馬匹費		13.00					13.00
50.00	100.00									150.00		演習費		3.23					3.23
126.86										126.86		患者費							
												運搬費		6.00					6.00
												給食費							139.60
												接待費	45.60	23.55					69.15
												雜費	61.40	6.70					80.85
												軍用船費							58.76
												軍用人費							
613.68	540.00									1,153.68		臨時家族持	276.12	194.30					470.42
2.00	80.00									82.00		臨時家族持	2.00	4.00					6.00
												臨時家族持							76.00

(一) 科目適用、前月迄領收額(本月領收ノ分ハ本月領收額ニ共ニ當リコト)
(二) 科目更動、前月迄領收額(本月領收ノ分ハ本月領收額ニ共ニ當リコト)
(三) 繰越精算種別ハ回收額ニ計上スルコト
(其ノ他陸軍中隊理要覽六〇一参照)

4271.93 7220.00 11,491.93 總計 3677.29 3188.82 6866.11 4625.82

本書ト現金出納簿トヲ對照調査スルニ悉皆符合スルコトヲ證明ス 昭和17年5月28日 副隊長 陸軍少將 岡部 通

提出書類 證憑書一冊、手元保管高 五月廿九日現金3550.00七失セン=ツキ
實際、現金保管高ハ、1075.82トス

